

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	感染症予防対策費	担当部局庁	健康局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度	担当課室	結核感染症課	結核感染症課 正林 督章			
会計区分	一般会計	施策名	IV-3-4 感染症の発生・まん延を防止する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成10年10月2日法律第114号)	関係する計画、通知等	感染症の予防の総合的な推進を図るための基本的な指針				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	感染症予防に係る検討会、地方自治体職員等に対する研修を実施し、感染症予防対策を推進することや特定感染症予防指針に基づく予防対策等を検討する検討会等を実施し、特定感染症予防対策を推進することや地方自治体の担当者を対象とした研修会や地域対策推進会議を実施し、狂犬病をはじめとする動物由来感染症対策を推進すること及び国民が適切な医療を受けることができる体制を整備するため、医療従事者に対する必要な情報の共有や医療従事者や検査機関などの関係機関の職員への研修を実施することにより新型インフルエンザ発生時における感染拡大を可能な限り阻止することを目的としている。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	感染症予防に係る検討会、地方自治体職員等に対する研修や特定感染症予防指針に基づく予防対策等を検討する検討会等の実施や動物由来感染症対策として地方自治体の担当者を対象とした研修会や地域対策推進会議を実施、新型インフルエンザ対策として国民が適切な医療を受けることができる体制を整備するため、医療従事者に対する必要な情報の共有や医療従事者や検査機関などの関係機関の職員へ研修を実施している。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	309	45	33	35	65
		補正予算					
		繰越し等					
		計	309	45	33	35	65
		執行額	199	48	31		
	執行率(%)	64.4	106.7	92.1			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	当該事業は、感染症予防に係る各種検討会の開催、担当者の研修会及び感染症に対する情報収集事業及び情報発信をすることにより未然に感染症を予防することを目的にしており、予め各事業における具体的な成果目標値等は設定できない。	成果実績			—	—	—
		達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	当該事業は、感染症予防に係る各種検討会の開催、担当者の研修会及び感染症に対する情報収集事業及び情報発信をすることにより未然に感染症を予防することを目的にしており、予め各事業における具体的な活動指数等は設定できない。	活動実績 (当初見込み)			—	—	—
				—	—	(—)	(—)
単位当たりコスト	— (円/ —)		算出根拠	—			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	社会保障関係情報化業務庁	14	44				
	庁費	13	13				
	委員等旅費	4	4				
	諸謝金	3	3				
	職員旅費	1	1				
	計	35	65				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	感染症の発生・まん延を防止するために感染症に対する情報収集及び情報発信は重要であり、国民のニーズ、優先度ともに高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	感染症の発生・まん延を防止するためには、広域的な対応が必要であり、国の関与のもと、適切かつ迅速に実施すべき事業である。
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	×	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	一部、随意契約でおこなっているが、研修会などについては、感染症に関する知識や研修のノウハウを有する業者を選定しており妥当である。
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	感染症の発生・まん延を防止するために感染症に対する情報収集及び情報発信を実施するために真に必要な費目を対象経費としている。
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	各種検討会の検討結果については広く公表し、各種施策へ活用している。
点検結果	<p>感染症予防に係る検討会、地方自治体職員等に対する研修を実施し、感染症予防対策を推進することや特定感染症予防指針に基づく予防対策等を検討する検討会等を実施し、特定感染症予防対策を推進することや地方自治体の担当者を対象とした研修会や地域対策推進会議を実施し、狂犬病をはじめとする動物由来感染症対策を推進すること及び国民が適切な医療を受けることができる体制を整備するため、医療従事者に対する必要な情報の共有や医療従事者や検査機関などの関係機関の職員への研修を実施するなど、国民のニーズ、優先度ともに高い事業である。</p> <p>今後も、感染症の感染拡大を可能な限り予防するため引き続き行っていく必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>感染症予防対策費については、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく必要な事業であり、事業の必要性及び執行の観点からは概ね妥当であり、引き続き効率的な執行に努めること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	－		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0136	平成23年行政事業レビュー	091

厚生労働省 31百万円



【随意契約、一般競争入札】

A 民間会社 27社 24百万円

〔感染症予防対策に必要な経費〕

うち事務費7百万円

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.岩井化学薬品(株)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
消耗品費	試験研究機関従事者研修に要する経費	5.9			
計		5.9	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	岩井化学薬品(株)	試験研究機関従事者研修に要する経費	5.9	1者	99.48%
2	株式会社電通	平成23年度新型インフルエンザ対策DVD及びリーフレット作成業務	5.7	随意契約	
3	ティーベック(株)	新型インフルエンザ等感染症に関する相談業務	3.9	4者	48.12%
4	TAZAKIコミュニケーション コンサルティング	感染症対策アドバイザー養成セミナーにおける業務委託	0.9	随意契約	
5	富士ゼロックス(株)	複写機2台の保守～供給	0.7	随意契約	
6	(有限)タケマエ	レンタル料(引違いキャビネット)	0.7	随意契約	
7	(株)太陽美術	動物由来感染症対策(狂犬病予防を含む)技術研修会資料の印刷	0.6	随意契約	
8	八重洲電気(株)	健康局結核感染症課LAN配線移設等工事	0.5	随意契約	
9	旭社(株)	事務機器の購入	0.4	随意契約	
10	岩井化学薬品(株)	QuantiTest Virus +ROX Vial～3個の購入代金として	0.3	随意契約	